



「その日」に備える防災



No.7

「熊本地震」から5年 ～熊本県へ派遣された職員の記憶～

震度7を2回観測し、甚大な被害をもたらした「熊本地震」から早5年が経とうとしています。共に復興業務にあたった熊本県の職員の言葉が今でも思い出されます。

▼ 「前震後、丸一日避難所で働き、眠りに就こうとしていたら、本震。ゴーという大きな音と激しい揺れで足は全然動かなかった。けれど、手は無意識の内に携帯電話を握り締めていた。停電の中、携帯電話の明かりだけが頼りだった」(熊本県御船町20代男性職員)

携帯電話は、通信手段としてはもちろんのこと、ライト、インターネットを利用した情報収集、発信、被害の記録のためのカメラなど、災害時になくしてはならない機能がそろっています。必ず予備のバッテリーを備えておきましょう。

自宅が被害を受けたときは ～被害状況を写真で保存～

片付けや修理の前に、被害状況を写真で残しておく、町から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に請求する際などに大変役に立ちます。ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

〈家の外〉

浸水は、メジャーを当て、引きと寄りの構図で撮ると、被害の大きさが良く分かります。



〈家の中〉

被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



行政無線情報は電話でも

行政無線が聞き取りにくい場合は、☎0569(48)7030へ問い合わせてください。最新のメッセージを聞くことができます。

右図を切り取り線に沿って切ってください、電話機の受話器へ貼っていただくと便利です。

防災無線は電話でも

☎0569(48)7030



≡ 4月開催予定の春まつりを中止 ≡

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の春まつりを中止します。

- ▽ 高岡(高岡獅子館) ▽ 坂部(坂部獅子館) ▽ 萩(大山車) ▽ 宮津(北組山車・南社山車)
- ▽ 大古根(八幡社山車) ▽ 横松(横社山車)

■ 問い合わせ先 社会教育課社会教育係 ☎(48)1111(内1228)

